

## あおぞら銀行「グリーン預金 フレームワーク」

あおぞら銀行では、環境課題へ取り組む国内外の企業に対するファイナンスを通じた財務面でのサポートや、投資家のニーズへの対応は、金融機関としての社会的責任の一環であると考えていることから、太陽光・風力発電をはじめとする再生可能エネルギー、グリーンビルディングなど、環境改善に資する事業への投融資に資金用途を限定したグリーン預金フレームワーク（本 FW）を 2026 年 2 月に策定致しました。

あおぞら銀行では、本 FW で調達した資金は、環境ファイナンスの中でも当行グループが強みを有する、太陽光・風力発電をはじめとする再生可能エネルギー、グリーンビルディングなどへの投融資に充当されるものと位置付けられます。

なお、本 FW は、国際資本市場協会（ICMA）が制定した「グリーンボンド原則（2025 年）」の趣旨に準じ、1.調達資金の用途、2.適格プロジェクトの評価と選定プロセス、3.調達資金の管理、4.レポートの 4 つの要素により構成されております。また、本 FW は、株式会社格付投資情報センターからセカンド・パーティ・オピニオンを取得しています。

### 1. 調達資金の用途

グリーン預金により調達した資金は、下表の基準を満たす再生可能エネルギープロジェクト及びグリーンビルディング/省エネ性能を有する建築物に対する投融資（適格グリーンプロジェクト）に充当します。リファイナンスの場合は、ルックバック期間（対象プロジェクトの対象期間）3 年以内の案件に充当します。いずれも、環境省のグリーンボンドガイドライン(2024 年)の付属書 1 にて規定される内容に即したものとなっています。

カテゴリ	適格クライテリア
再生可能エネルギー	発電施設の事業検討段階において環境影響評価法や同条例等を遵守する再生可能エネルギープロジェクト（太陽光発電施設、風力発電施設）の建設、取得、改修、運営に係る投融資
グリーンビルディング/エネルギー効率	グリーンビルディング/省エネ認証のうち上位 2 種のランクを取得する環境不動産の建設、取得、改修費用に係る投融資 ・ CASBEE 認証（建築（新築、既存、改修）、不動産、戸建（新築））における S～A ランク ・ DBJ Green Building 認証における 5～4 つ星ランク ・ LEED 認証における Platinum～Gold ランク ・ BREEAM 認証における Outstanding～Excellent ランク ・ BELS 認証における 6～5 つ星ランク

### 2. 適格プロジェクトの評価と選定プロセス

#### (1) 環境面の目標

本件グリーン預金の環境面の目標は、気候変動緩和や環境負荷低減です。

#### (2) グリーン預金の資金用途の評価・選定のプロセス

調達資金の用途対象となるプロジェクト等への投融資を行うプロジェクト選定部署にて、グリーンプロジェクトの評価・選定をし、主管部署（法人営業統括部金融法人・地域法人ソリューショングループ）に

報告します。プロジェクト選定部署には、専門知見を有する環境ファイナンス部や不動産ファイナンス部等も含まれています。プロジェクト選定部署にて、評価・選定されたプロジェクトは、主管部署が更に、適用する環境基準への充足状況について、各種申請書、環境影響評価書等や認証取得状況がわかる客観的資料等の証跡資料を用いて、評価・選定し、主管部署にて、グリーン預金による資金調達の可否について判断します。

なお既に本 FW 以外のグリーン調達（グリーンボンド等）に充当済みのグリーンプロジェクトは対象外と致します。

### （３） ネガティブインパクト

あおぞら銀行では、「環境・社会に配慮した投融資方針」を制定しており、重大な環境・社会に対するリスクまたは負の影響を内包するセクター横断的な事業を定め、環境・社会に足し得るリスクまたは負の影響を認識した場合、投融資には取り組まない旨、規定しています。また、個別の与信案件の取上げは、ネガティブな環境・社会への影響についても、検証を行った上で、クレジットコミッティーまたは投資委員会で決裁することとしています。同枠組みと共に、上記のプロジェクト選定部署・主管部による、環境・社会へのネガティブインパクトを特定・緩和するプロセスを踏まえて、適切に適格プロジェクトの評価・選定を行って参ります。

## 3. 調達資金の管理

基本的には、充当可能なグリーンプロジェクトの存在を前提として、グリーンローンの資金調達を行います。調達資金は即時充当され、充当完了債務として分類管理されます。主管部署・プロセス評価部署は、調達した資金の適格グリーンプロジェクトへの充当状況についてのモニタリングを定期的実施します。

資金調達するグリーン預金を以下に記載するコーラブル預金等とする場合は、原則として調達開始から充当が完了される迄は、期限前弁済されることはないものとして管理します。充当完了が確認され、また、後述の年 1 回のレポートに含められた資金について期限前弁済の可能なものとして管理することとします。なお、期ズレ等の要因により、一時的に未充当資金が生じた場合は、現金又は現金同等物で管理します。

対象商品：自由金利型定期預金（大口定期預金）、デリバティブ内蔵型定期預金（コーラブル/マルチコーラブル、フロア付シーリング、マルチコーラブル・リバース）

※コーラブル預金とは、あおぞら銀行側に早期償還の権利（コールオプション）がある仕組預金である。

## 4. レポート

レポートは、年に 1 回、あおぞら銀行ホームページに、期中報告書として掲載することで行います。

期中報告書には、グリーン預金の調達額と充当額、充当対象となった再生可能エネルギープロジェクトの件数やグリーンビルディング/省エネ性能を有する建築物の取得認証の種類・ランク別の物件数及び各々の充当額等を記載した資金充当状況、二酸化炭素排出削減推計量（算出方法含む）等の環境改善効果、及び充当額に占めるリファイナンス額等について記載します。なお、大きな状況の変化があった場合は、適宜開示します。

以上